

団体名

精華町

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

B

事業費総額 1,987千円

防災・災害対策

事業名

## 多言語による防災マップの作成事業

概要

町内在住・在勤外国人の防災に対する意識向上のため、本町のハザードマップと防災・災害に関する情報を掲載した、多言語による防災マップを作成した。

### 事業のポイント

◇日本語版の防災マップをそのまま翻訳するのではなく、外国人向けのものとして新たに掲載内容の検討を行った。

◇作成にあたり、多文化共生マネージャーや外国人支援を行っているボランティア団体「せいかグローバルネット」、国際交流員等から、外国人目線での意見やアドバイスなどをいただきながら作成した。

### 事業の背景・目的

本町は関西文化学術研究都市の中心に位置していることなどから、立地企業や研究施設で働く外国人が多数おられる。

このような背景のもと、町内在住・在勤外国人の中には、防災に関する知識の不足、また、言葉の問題から情報弱者となる懸念なども考えられることから、外国人への防災・災害に関する正しい情報の提供を行い、防災意識の向上を図るため、本事業を実施した。

### 事業の概要

#### 1. 検討会議の開催

多文化共生マネージャーや外国人支援を行っているボランティア団体「せいかグローバルネット」、国際交流員等の参画により検討会議を開催し、掲載内容の検討を行った。(9月～10月に2回実施)

#### 2. 掲載内容

◇精華町浸水・土砂災害ハザードマップ

◇土砂災害・風水害に関する情報

◇地震に関する情報・精華町の揺れやすさマップ

◇非常持出品 ◇防災に関する用語

◇警戒レベル・避難情報・防災気象情報等、被害写真

◇避難所一覧

◇防災や生活に役立つ情報(ウェブサイトやアプリ等の紹介)

#### 3. 翻訳言語

本町在住外国人の状況に即して、英語、中国語、韓国語、ベトナム語の4言語を作成した。

#### 4. 周知・活用等

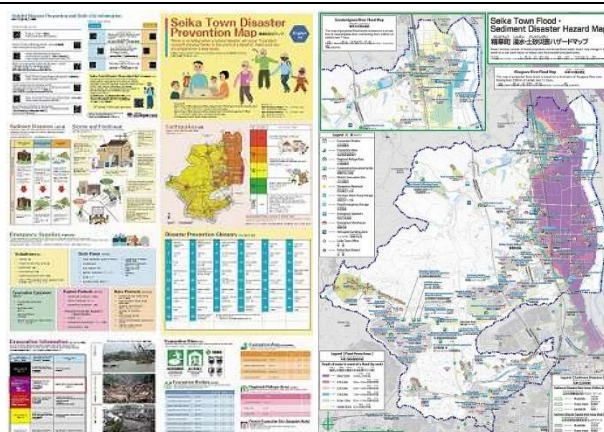
◇精華町多言語版防災マップ説明会の実施(1月実施)

せいかグローバルネットとの共催事業として、日本語教室等のボランティア(36名)を対象とした本マップの説明会をリモートで行い、教室(リモート)において外国人学習者と本マップを活用した防災学習に取り組んだ。

◇町内在住外国人、関係機関・団体等への配布

◇町ホームページ・町広報誌・外国人向け広報誌等への掲載

◇転入時における配布



## 1. 工夫等

地図面については、日本語の表現を平易にし、施設名称などは読み方が分かるように漢字にルビを振るなど、外国人が見やすい、読みやすい工夫を行った。

外国人には馴染みのない災害もあることから、災害の怖さを知ってもらうための被害写真を掲載し、指差してのコミュニケーションツールとして、使用することの多い防災に関する用語の一覧、また、防災や生活に役立つ情報が掲載されているウェブサイトの紹介など、外国人向けのものとして新たに掲載内容の検討を行い、外国人にも分かりやすい内容を掲載した。

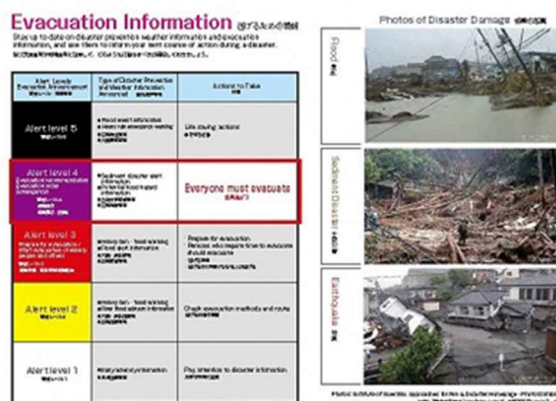
## 2. 成果等

作成したマップを用いて、町内在住・在勤の外国人向けの防災学習会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象者を日本語教室のボランティアに絞り、本マップの説明会をリモートで開催し

た。外国人学習者と本マップを活用した防災学習に取り組むことで、防災意識の向上に努めることができた。

令和3年度においては、多文化子育てひろば「いちご一会」において、子育て中の家族へ本マップを活用した防災学習を実施した。(51名参加)

今後においても、外国人を対象とした防災学習会や防災訓練において、本マップを活用していく予定である。



◇避難情報・被害写真のページ

## 今後の課題・(コロナ禍の状況を踏まえた) 将来に向けての展望等

町内在住・在勤外国人の中には、防災に関する知識の不足、また、言葉の問題から情報弱者となる懸念なども考えられることから、防災に対する意識と知識の向上などを目指し、せいかグローバルネットと共に取り組んできた。

また、本マップの検討にあたっては、新型コロナウイルス対策にも配慮した内容として作成した。

いつ起こるか分からない災害については日頃からの備えが重要であることから、コロナ禍における新しい時代に対応した、防災・災害に関する取り組みを引き続き進めることとし、災害時における情報伝達等に関する取り組みについても、関係機関と連携・協力しながら進めてまいりたい。



◇多文化子育てひろば「いちご一会」での防災学習の様子

## 事業担当者のふりかえり

多文化共生マネージャー等からいただいた、外国人目線での意見やアドバイスなどを反映することができたことが良かったと考えます。当初、町内在住・在勤外国人向けの防災学習会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートでボランティア向けの説明会を実施する工夫を必要としました。本事業を実施するなかで、日本語教室等における外国人とのネットワークが、災害時の情報伝達等においても重要になると改めて考えさせられ、地域に住む外国人との交流事業なども新たなネットワークを作るきっかけとなり、災害時支援につながっていくものであると、取り組みの必要性を感じました。